

メタンフェタミンの使用によりHIVの伝播につながるリスク行動が増加する

- アンフェタミン使用者には、HIV伝播のリスク因子として知られている行動がみられる¹。
 - コンドームを用いない性交渉の頻度が高い、HIV感染状態が不明のパートナーやIDUの既往があるパートナーと性交渉を持つ可能性が高い、STDの既往歴がある可能性が高い。
- メタンフェタミン使用と性的リスク行動を減らすことを目的とした試験に参加しているメタンフェタミン使用の男性間性交渉者 286例を対象に実施された研究²
 - 40.2% (115例) がベースライン時にHIV陽性
 - 9カ月間の研究期間中、さらに3例で抗HIV抗体が陽性となった。
(発生率：2.6例/100年)
 - 9カ月間の追跡調査期間中、71例が新たにSTDと診断され、その78%はHIV感染者